

広報 ただみ

6
2010 月号
No. 481
平成22年6月10日



今月の表紙

晴天の5月29日、この日は只見
小学校の運動会。大勢の観客が
応援の声を響かせる校庭。特に
その声が大きくなると同時に、
全校児童や先生に緊張感が漂う
「騎馬戦」。5・6年生の紅組と白
組の騎馬が真っ向勝負。その迫
力に誰もが圧倒されていた。

只見統合簡易水道事業

(黒谷地区) がスタート	2~3
平成22年10月から町県民税の年金引落し開始	4~5
只見町ブナセンター運営委員会 他	6~8
こんにちは！保健師です	9
町の話	10~11

只見統合簡易水道事業(黒谷地区)がスタート

黒谷簡易水道の水源施設が、現在の場所から、黒谷川上流部の黒谷字黒下地内に移設されます。同時に配水池も新たに整備されることにより、さらに安全・安心・安定した上水道の供給が可能となります。町は、ライフラインの機能充実と生活環境の向上を図るため、今年度、この事業に着手しました。

基本方針

本事業では、只見町の簡易水道事業5件、専用水道事業2件、給水施設2件の計9件の水道事業を一元化させ、経営基盤の強化を図ることが目的です。

その中で只見町全体の維持管理の効率化や安定した水の供給のため黒谷簡易水道の水源の移設や配水池の設置などを計画し、今年度、本事業に着手しました。

黒谷簡易水道は昭和30年に創設され現在に至っています。農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備が90%以上進んでおり、それに伴い水道の使用量も増加しています。また、近年は只見中学校や朝日診療所の新設など、以前よりさらに町の重要施設が集約し設置されているこ

とからも、安定した水の供給が求められています。

既設の井戸(浅井戸)は付近の消雪用井戸などの影響により冬期間に水位が低下していることから本事業では、より安定した水の供給のために水源を移設するものです。また、現在の維持管理が複雑で給水できなくなる要因が多いポンプ直送方式から、新たに配水池を設けた自然流下方式に変更し、より安定した水の供給を図り、町民の皆さんの生活環境基盤の向上を実現していきます。

おもな計画の内容は次のとおりです。

- ▽計画目標年次 平成24年度
- ▽計画給水人口 1,520人
- ▽1人1日当り最大計画給水量

0.612㎡/日

- ▽1人1日当り平均計画給水量

0.458㎡/日

黒谷浄水場の概要

新たに設置される水源施設の概要は

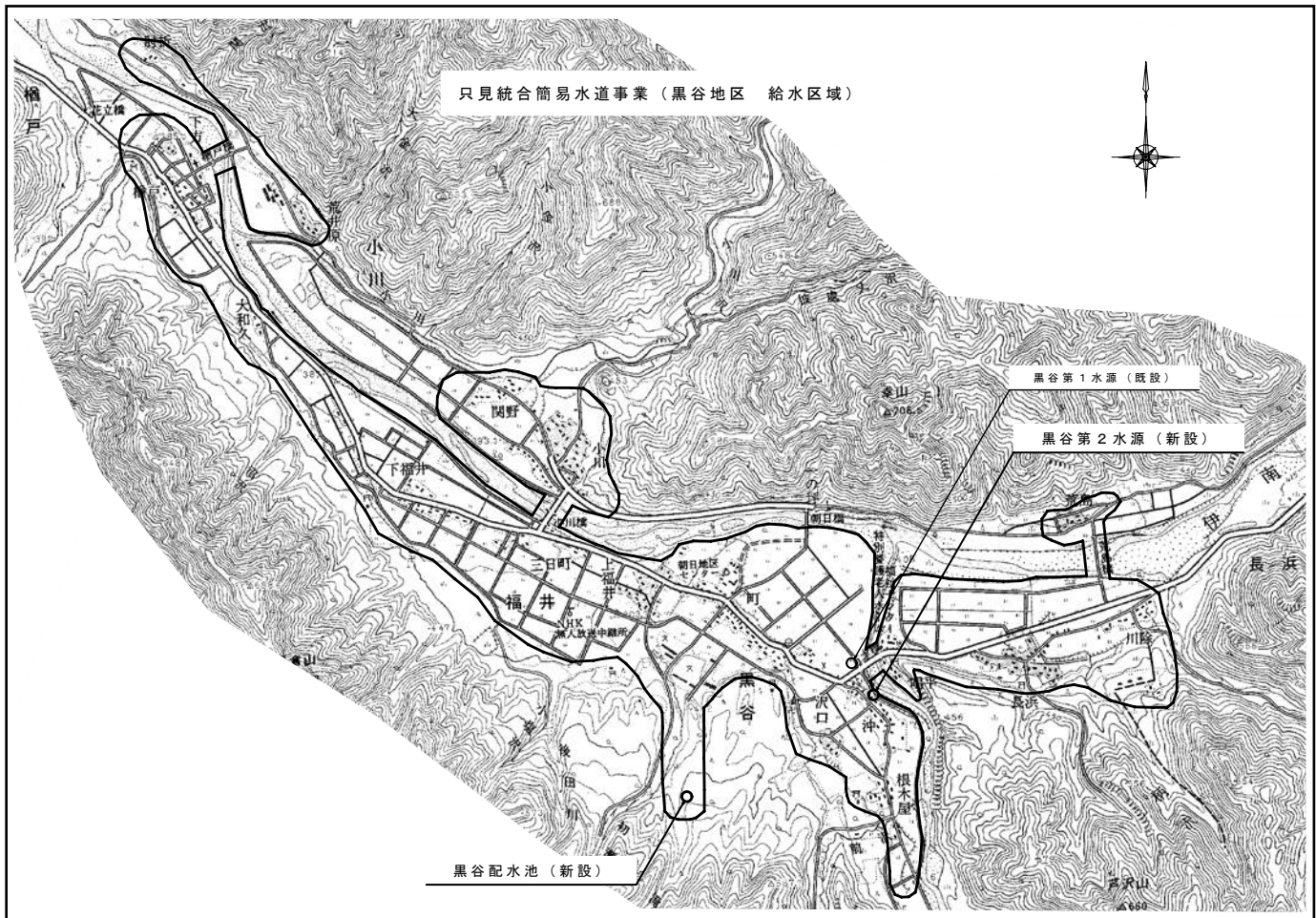
- ▽限界揚水量 1890㎡/日
- ▽計画取水量 930㎡/日
- ▽浄水設備 塩素滅菌器

安心して使用いただける水を、安定して供給できる施設として整備いたします。



▲黒谷浄水場が設置される水源地での試掘状況





■ 施設整備計画

施設別	工種別	数量	工期
水源施設	井戸ピット築造工	1式	平成23年
	ポンプ設備工	2台	〃
浄水施設	管理棟築造工	1棟	平成23年
	浄水設備工	1式	〃
	敷地造成工	1式	〃
	電気計装設備	1式	〃
	場内配管工	1式	〃
	門柵工	60m	〃
送水施設	送水管布設工	200m	平成23年
	送配水管布設工	800m	平成24年
配水施設	配水池築造工	1式	平成24年
	敷地造成工	1式	〃
	量水器ピット築造工	1式	〃
	電気計装設備	1式	〃
	場内配管工	1式	〃
	配水管布設工φ100	200m	〃
	配水管布設工φ75	200m	〃
門柵工	80m	〃	

●平成22年度は、浄水場、配水池、送・配水管路の測量・調査・設計を実施します。

■ 財政計画 【単位：千円】

財源別内訳	総額	22年度	23年度	24年度
総事業費	223,337	23,343	56,723	143,271
国庫補助対象事業費	199,230	20,859	41,122	137,249
国庫補助額	66,409	6,953	13,707	45,749
県費補助額	0	0	0	0
市町村負担額	121	6	15	100
起債額	132,700	13,900	27,400	91,400
その他	0	0	0	0
その他単独事業費	24,107	2,484	15,601	6,022
用地取得費	473	473	0	0
うち国庫補助額	0	0	0	0
補償費	0	0	0	0
うち国庫補助額	0	0	0	0

- 平成24年度までの計画です。
- 3年間の総事業費は2億2千3百万円となっています。
- 平成22年6月現在の確定額です。

平成22年10月から、町県民税の年金からの引き落としが始まります

65歳以上の年金受給者で、町県民税（個人住民税）を納めている方にお知らせです。
平成22年10月から、町県民税の公的年金からの引き落とし（特別徴収制度）が始まります。これにより、これまで年金受給者の方が年金を受け取ってから役場や金融機関などで納税していた町県民税を、年金の支払いをする年金保険者（厚生労働省など）が公的年金から引き落としとして直接町に納入するようになるため、納税の手間が省かれることとなります。

平成22年10月から導入される町県民税の特別徴収制度は、年金の支払いをする年金保険者（厚生労働省など）が町県民税を公的年金から引き落とし、直接、町に納める仕組みです。

この制度は、65歳以上の公的年金受給者で町県民税の納税義務のある方が対象となります。

問 どのような方が対象となりますか？

答 この特別徴収制度の対象となる方は、4月1日現在65歳以上の公的年金の受給者で、前年中の年金所得にかかる町県民税の納税義務のある方です。ただし、「介護保険料の特別徴収対象とならない方」や「その年度の町県民税の特別徴収税額が老齢基礎年金等の額を超える方」などは対象と

はなりません。

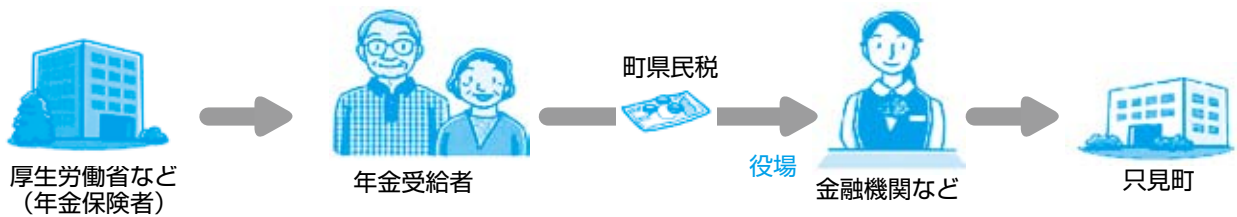
問 すべての年金が引き落としの対象となるのでしょうか？

答 老齢基礎年金または昭和60年以前の制度による老齢年金、退職年金などが引き落としの対象となる年金です。障がい年金や遺族年金などの非課税の年金からは町県民税の引き落としはされません。

問 給与所得にかかる町県民税額も年金から引き落としとなるのでしょうか？

答 引き落としされるのは、年金所得にかかる町県民税額のみです。給与所得など、年金所得以外の所得にかかる町県民税については、別途、従来どおりの方法で納めていただくこととなります。

● これまでは



<普通徴収>

年4回、納税者が自ら役場・金融機関などの窓口へ出向き納税していました

● 平成22年10月からは



<特別徴収>

年金保険者が年金から住民税を引き落とし、町へ直接納入します

●新たな税負担が生じるものではありません●

特別徴収制度は、年金受給者の方が直接市町村に納めていただく方法から、年金保険者が本人に代わって直接町に納入する方法に変更するものであり、新たな税負担が生じるものではありません。

この制度の導入によって、年金受給者で町県民税の納税義務のある方の納税の手間が省かれるとともに、町の事務が効率的になります。

●引き落としの開始は平成22年10月支給分の年金から●

年金からの町県民税の引き落としは、平成22年10月支給分の年金から始まります。平成22年度の町県民税の税額の半分は、年度の前半（6月、8月）にこれまでどおり納付書で納めていただきます。

対象となる方には、町が送付する納税通知書によって、引き落とし（特別徴収）される税額をお知らせします。平成22年度の納税通知書は6月10日頃お送りしております。

◀【例】町県民税の年間税額が6,000円(年金所得のみ)の場合の納め方については下のとおりです▶

これまでの納め方

	納付書で納める（普通徴収）			
月	6月	8月	11月	1月
税額	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
算出方法	1/4	1/4	1/4	1/4

*年間税額の四分の一ずつ納付書で納めていただいていたました。

平成22年度の納め方

	納付書で納める（普通徴収）		年金から引き落とし（特別徴収）		
月	6月	8月	10月	12月	2月
税額	1,500円	1,500円	1,000円	1,000円	1,000円
算出方法	1/4	1/4	1/6	1/6	1/6

*6月と8月は年間税額の四分の一ずつをこれまでどおり納付書で納めていただきます。10月、12月、2月は年間税額の六分の一ずつ年金から引き落としします。

平成23年度以降の納め方

	年金から引き落とし（特別徴収）					
月	4月	6月	8月	10月	12月	2月
税額	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
算出方法	前年度2月と同じ額			23年度の年間税額の残りの1/3ずつ		

*4月、6月、8月は、前年度の2月分の税額と同額を年金から引き落としします。(仮徴収)

*10月、12月、2月は、公的年金等の所得に係る年間税額から仮徴収税額(4月、6月、8月分)を差し引いた額の三分の一ずつを引き落としします。(本徴収)

「詳しくは、町民生活課税務班 ☎ 82 - 5110 にお問い合わせください。」

運営委員に委嘱状を交付

只見町ブナセンター運営委員会

5月7日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで、只見町ブナセンター運営委員会が行われました。

はじめに、河野昭一ブナセンター館長のあいさつがあり、続いて久保副町長より運営委員へ委嘱状が手渡されました。その後、会長と副会長が選出され、会長に目黒邦友さん（只見）、

副会長に古川勝久さん（長浜）が選ばれました。次に、平成21年度の事業報告が行われ、続いての平成22年度事業計画では毎月行われる只見の自然講座や年4回開かれる自然観察会などの内容について協議され年間計画が承認されました。今後も、ブナを核とした各種活動を行っていきます。



▶委嘱状を受ける竹内学関東森林管理局会津森林管理署南会津支署長



▲あいさつをする河野ブナセンター館長



～学年を問わず楽しく交流～

各地区こども教室スタート



めい わ



▽めいわこども教室
毎週火曜日
午後3時～午後5時



た だ み

▽ただみこども教室
毎週月曜日
午後3時～午後5時

あ さ ひ



町内の小学生が有意義な放課後を過ごせるよう、各地区で「こども教室」が今年度もスタートしました。只見では5月10日に、明和では11日に、朝日では13日に、各地区センターを会場に開校式が行われました。

開校式では、参加児童とスタッフの顔合わせが行われ、自己紹介も元気にはつきりとできました。初めて参加した1年生も最初は緊張の面持ちでしたが、次第に慣れみんなと仲良く活動していました。今後は様々なイベントを企画、取り入れながら楽しく充実した時間を児童と過ごせるよう活動していきます。

こども教室の実施日は次のとおりです。



▲再開通を祝いテープカットする関係者

加賀美幸子アナウンサー 朗読&講演会

ただみ・ブナと川のミュージアム再オープン記念事業として、元NHKアナウンサーの加賀美幸子さんによる朗読&講演会が5月16日に、町下町民体育館で行われ、約200名が聴講しました。第1部では、只見町在住の石津伸介さんが作られたオリジナル物語「森男と夢の木」を朗読、入場者は物語の世界に引き込まれている様子でした。

第2部は「ここを動かす言葉」と題し講演され、言葉が人に与える無限の力などについて経験談も交え分かりやすく丁寧な言葉で話されました。

加賀美幸子さんは現在もアナウンサーとして活躍。また、ただみ・ブナと川のミュージアムの館内ナレーターも担当されています。



▲「森男と夢の木」を朗読する加賀美アナウンサー

快晴という絶好の天候のなか、新潟県魚沼市の道の駅「いりひろせ」を会場に、5月8日、国道252号六十里越雪わり街道再開通式が行われました。主催者を代表し魚沼市六十里越雪わり街道を愛する会の大塚桂三会長があいさつを述べ、続いての祝辞で目黒町長は「この街道の繋がりによって新潟県ともしっかりと深い絆を築き、それぞれの地域にある価値をPRしながら

ら、さらなる交流の発展を祈念します」と述べました。その後、関係者によるテープカットが華やかに行われ、只見町からも目黒町長や五十嵐拓議会議長などが参列しました。会場では、魚沼市の郷土芸能「鬼面獅子山太鼓」の披露や特産品などが当たる抽選会も行われ、観光客などでにぎわっていました。このイベントは、9日も行われました。

5月9日、非常時の消防活動を迅速に行うことを目的に、只見町消防団の非常招集訓練が行われました。午前5時30分のサイレン広報で町内すべての分団に出勤要請が出され、出火場所に想定された町下運動広場に集合しました。今回の訓練には団員98名、ポンプ車3台、消防積載車9台、消防軽トラ3台が出勤しました。訓練会場では到着順に水利から火点までのホースの連結作業と同時にポンプ操作を行

い、伝令とともに放水され、一連の消火訓練が円滑に行われました。訓練終了後、鈴木好行消防団長から「火災の時は、いち早く的確な判断と対応が求められます。初期消火、人命救助の重要性を再認識され、予防消防と日ごろの訓練に努められるよう、お願いします」と訓示がありました。出動した消防団員は機械器具の操作などを再確認されていました。



▲非常時を想定し訓練をする消防団員

地域交流のさらなる発展を願う

国道252号六十里越雪わり 街道再開通式

消防団非常招集訓練

迅速な消火活動と意識高揚を

青空のもと気合の入った応援合戦 小学校春季大運動会

▼明和小学校



▲只見小学校

さわやかな春の青空が広がるなか、5月15日に明和小学校で、22日に朝日小学校で、29日には只見小学校で、運動会が行われました。

今年は全小学校ともに晴天となり、会場には大勢の保護者や家族の方が詰めかけ、児童の熱戦に大きな声で応援したり、ビデオカメラを向け一生懸命に撮影するお父さんの姿が多く、児童の応援の声も一緒になり、どの運動会も最高の盛り上がりを見せました。

只見小学校の栗木孝直教頭先生は、閉会式の講評で「今まで積み重ねてきた練習の日々が大切。雨の日も寒い日も頑張っ毎練習してきた自分に拍手してください。集団行動のルールを覚えたり、体力もつきました。みんなで頑張ったすばらしい運動会でした」と述べました。各小学校ともに感動を与える運動会でした。



▲朝日小学校

新緑のなか春の臨時列車運行

『風っこ会津只見号』 『SL 会津只見新緑号』



5月のさわやかな青空とまぶしい新緑のなか、今年も満員列車が只見駅に到着しました。

1日から5日の五日間運行されたのは、レトロな客席が特徴の「風っこ会津只見号」、そして、22日と23日の二日間運行されたのは、C11型蒸気機関車の「SL 会津只見新緑号」で、今年も満員の大人気列車となりました。

只見駅では、列車をバックに記念撮影する人や駅前広場の特設テントで行われた物産販売で山菜などを買い求めたり、お昼を食べたりする人など、思い思いの時間を過ごし、只見の春を満喫していました。また、SLが到着した日は、かわいらしい3人の一日駅長が笑顔で「いらっしゃいませ」と歓迎の言葉をかけ、乗客を迎えていました。

この企画は秋にも行われる予定ですが只見線の活性化には欠かせないイベントとなりました。



▲5月23日

わかばやし ゆうさん(右)
うのこはるさん(中)
さつひろたかくん(左)



▲5月22日

さばき
さいばつ
だこうはるかさん
いすけくん(右)
すけくん(中)
けんくん(左)

こんにちは！ 保健師です

あなたのからだ元気ですか？ ～毎年健康診査を受けましょう～

保健師 菅野 聖子



五臓六腑（ごそうろつぷ）という言葉があります。これは、伝統中国医学において人間の内臓全体を言い表すときに用いられたことばで「五臓」とは、肝・心・脾・肺・腎を指す言葉です。「六腑」とは、胆・小腸・胃・大腸・膀胱・三焦を指します。これらの自分自身の臓器の健康状態を確かめるのがまさしく健康診査です。健康診査には様々な種類があります。（次のとおりまとめました）

【健診の種類】

- ① 特定健診（従来の基本健診が各医療保険者によって行われるもの）
- ② 結核健診（胸部レントゲン撮影と精密検査では痰の検査もあります）
- ③ 肺がん健診
- ④ 大腸がん健診
- ⑤ 胃がん健診（胃バリウム検査、胃カメラ）
- ⑥ 前立腺がん検査（PSAという腫瘍マーカーを調べるものです）
- ⑦ 子宮がん健診（細胞レベルでの検査ですので早期の発見が可能です）
- ⑧ 乳がん健診（がんの中で唯一自分で見つけることができるがんです）
- ⑨ 骨粗しょう症健診（超音波またはレントゲン撮影で行われる検査です）

⑩ 頸部エコー検査（首から脳へいく太い血管の厚みを調べ脳卒中などの早期予防を図る検査です）

その他にも、様々な健診があります。近年は「がん」も生活習慣病といわれており、若くても「がん」にならないという保障は全くありませんので、各市町村で定められた年齢になったら、毎年必ず健診を受けて自分の健康を確認するために健診は必要です。「自分は大丈夫」という安易な安心は非常に危険です。病気は、早期発見早期治療が非常に重要です。自分の体の不調は自分が一番知っていることかもしれません。生活習慣病の場合、「無症状のまま」徐々に進行していきます。

今、町の保健師は総合健診が終わり、結果を説明するため多くの方と面接をしています。この保健指導は平成20年度より施行された「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、各医療保険者が実施しなければならぬものになっています。この2年間、住民の皆さんにお会いして、日常生活のパターンや実際の改善の努力状況をお伺いしていると、皆さんは自分の生活習慣で何が悪いかというところ、健診結果の項目で結果が悪かった場合、どのように対

処したらよいかを大体知っておられるものの、「じゃあ具体的に自分の体に合わせた場合にはどうしたらいいのか」というところではなかなか改善に繋がらないということが難しいところだと分かりました。健診結果のデータを改善したいけれども、「継続できない」「無理」と思っている方が多いということこそがまさしく悩み所です。しかし、40歳以上になると、新陳代謝が低下してしまうので、やはり食事制限だけでは全く体重が落ちないことが分かっていきます。食べたものが消費できる場所は「筋肉」だけです。軽いウォーキングや散歩、自転車での移動などは大きな太ももの筋肉を使うので、エネルギーを消費するには非常に効果的な運動といえます。今年の健診結果が届いたら、まず自分の生活習慣を思い起こしてください。そうすると元気で生活するためのヒントがたくさん隠れていることが分かります。もし、健診結果で分かりづらいこと、どうしてもたよいかなど、様々な疑問がありましたら遠慮なく保健師までご相談ください。生活習慣病予防は、介護予防にもつながる活動です。ぜひもう一度、自分と家族の生活習慣を見つめなおしてみてください。

健康のためには

- ① 運動（軽いウォーキング、自転車、ストレッチ体操）
- ② 食事（塩分、たんぱく質の過剰摂取を控える、野菜中心）
- ③ 休養（1日7時間はぐっすり眠る）



▼ちょっと寒かったけど元気な笑顔でポーズ



お 春の遠足 父さん、お母さんと楽しい一日

5月14日は、只見保育所の遠足の日。待ちに待った保育所児34名のみんなは、お父さんやお母さんと元気にバスに乗り、保育所を出発。田子倉ダムを散策したあと、町下町民体育館に移動し親子で対戦ゲームなどをして遊びました。最後はみんなでお弁当を食べ、親子のふれあいを深めました。忘れられない思い出の一日になったことでしょう。



▲田子倉ダムで思い出のワンショット



▲新緑の只見を満喫した参加者

さ 第21回只見町民ハイキング わやかな青空のもと澄んだ空気を深呼吸

5月16日に第21回只見町民ハイキングが五月晴れのもと、只見青少年旅行村のトレッキングロードで行われ、80人の参加者は木漏れ日のなか、マキノスミレ、カタクリ、ユキツバキ、キクザイチリン草などの可憐な花を見たり、ブナの若葉のなか自然ガイドの説明を受けながら、森林散策を楽しみました。最後にトン汁のサービスでお昼を食べました。

朝 朝日婦人会清掃ボランティア 日地区センターの床がピカピカに

朝日婦人会（横山圭子会長）では、5月16日に朝日地区センターの館内清掃をボランティアで行いました。清掃作業には会員14名が参加、クレンザーで床の汚れを落とし、モップでのワックスがけをされました。この作業は全館で行われ、終了後の床は見違えるほど明るく輝いていました。入館者も気持ち良く利用されることでしょう。



▲お忙しい中ありがとうございました

交

根本和夫さん役場本庁訪問 交通安全を願って県内を行脚

5月11日、郡山市在住の「根本和夫さん」が交通安全を願い役場本庁を訪れました。根本さんは会社の休日を利用し、県内28の全警察署と40ヵ所以上の市町村を交通安全を祈願し徒歩で巡っているとのこと。根本さんは平成16年1月に脳梗塞で倒れましたが後遺症を乗り越え、他人のために何かできればと考え、この活動を始められました。計画では県内全市町村を訪問されるそうです。



▲交通安全を願って役場を訪れた根本和夫さん（右）



▲水田を利用した池で生き物を捕まえる参加者

田

水の郷ウォークin梁取 んぼの役割を学び、生き物を調べよう

梁取集落保全会と只見町土地改良区の主催で5月30日に「水の郷ウォークin梁取」が行われ、約120名が参加しました。参加者は梁取農村公園を出発し、歩きながら成法寺などを見学、城下堰ではカップ伝説の話を聞いたり、集落排水処理施設の説明を受けた後は、田んぼに生息する魚や水生昆虫などを実際に捕まえながら田んぼの貴重な水環境と重要な役割について楽しく学んでいました。

楽

原っぱ・お楽しみ会 しく歌って食べて交流会

4月28日に只見原集会施設で「原っぱ・お楽しみ会」が行われました。集まった皆さんは原地区にお住まいの80歳以上の方で、定期的に交流会を開いては、大きな声で歌ったり、郷土料理などを作って食べながら、陽気に楽しくおしゃべりして過ごしているとのこと。皆さんとても元気で80歳を越えているとは思えない若々しい笑顔でした。



▲元気で長生きの秘訣は楽しい交流会

東

只見球友クラブ 日本選手権福島県大会に出場！



▲今春ユニホームも一新、気合の入るメンバー

昨年行われた、平成21年度「高松宮賜杯第53回全日本軟式野球（I部）福島県大会会津地区予選」において只見球友クラブが見事、優勝し県大会へ出場しました。同大会の会津大会で只見町のチームが優勝するのは初の快挙。東日本選手権福島県大会は4月18日に福島市の飯坂球場で行われ、いわき信用金庫クラブと対戦、0対2で惜しくも敗戦しましたが今シーズンの活躍が期待されます。



ヴィッキーの

にっぽん紀行

Vol.18

Victoria・Potter

・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
・2008年8月から町英語指導助手。



ゴールデンウィークに私は友人二人とベトナムに行ってきた。学校でベトナム戦争について学んだときからずっと、行ってみたいと思っていた。飛行機から降りて最初に気付いたことは、ベトナムがとても暑い！ということ。2008年の、日本に来ての初めての夏を思い起こさせました。湿度は猛烈で、屋外で活動するとすぐに疲れてしまいます。もう一つ気付いたことは、空港からホテルまでタクシーに乗ったとき、多くの人々はスクーターに乗っていたことです。あとでわかったことですが、車の税金が個人で持つには高すぎる、という理由があるからだそうです。交通ルールはかなりルーズで、怖い思いをします。車やバスとスクーターの距離がとてに近いし、たとえ対向車が迫ってきていても、追い越したりするんです。

私たちはホーチミンから旅行をスタートし、ハノイまで、多くはバスを使って、ゆっくりと国を縦断しました。いつもとても快適な旅だったわけではありません。一番ひどかったのは14時間以上も夜行バスに乗ったことです。でもそれは、ホーチミンからハノイまでで、自分たちが気に入ったところや見に行きたい場所でも降りることができる、というバスなのです。ベトナムを縦断するルートは何年も前からバックパッカーたちにとっても人気があり、観光客でにぎわっています。

今回の旅行で一番楽しみにしていたのが、ハロン湾までの一泊旅行です。巨大な石灰岩の島々が湾中のあちこちにある写真を見て以来、ずつと行ってみたいと思っていた。私たちは船でいろいろな岩の近くまで行ったり、島の中にある荘厳な洞窟を訪れたり、カヤックに乗ったり水中を泳いだりすることができました。太陽が島の後ろに沈んでいくのをボートから見るのができたことも、すばらしい経験でした。

日本に戻ってきたとき、今年の夏の暑さが来るのがおそくてよかった、と思いました。はじめじめした暑さから逃れられたことはよかったです。でも、今年日本の夏が寒かったら嫌だなあとも思っています。

只見町内のみなさんは、リラックスできたゴールデンウィークを過ごされましたか。

(訳・只見中・福地)

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 高柳 宏史

「アトピー性皮膚炎」

もう6月になりましたね。1年も半分が過ぎようとしています。みなさんの今年の予定は順調に進んでいますか？さて、今回ですが、健診をしていますと湿疹やアトピーのお子さんを見かけることが多いので、各種ガイドラインに記載のある一般的なスキンケアについて紹介しようと思います。皮膚の特に外側にある表皮(角層)には、水分を保持する機能と、外からの微生物やゴミから身を守るバリアー機能があります。これらに異常が起ると、湿疹や皮膚炎の病気になることがわかっています。アトピー性皮膚炎でもこれらの水分保持機能とバリアー機能に障害があり痒みや湿疹等の症状がでているのです。

アトピーの症状のない皮膚にも1日2回(朝、入浴後など)の保湿剤、保護剤の外用は痒みや湿疹の予防につながるため継続し習慣とすることを勧めます。

その他の普段の生活での注意点は2つあります。1つ目は入浴での注意です。入浴するお湯は微温湯もしくは水がよく、2日に1回程度に回数も減らしたほうがいいです。これは熱い湯で入浴した後は皮膚が乾燥しやすくなり水分が減るためです。また、水道水に含まれる塩素が皮膚にとって刺激物質であるため熱いお湯での入浴は避けたほうがよいとされているからです。

の皮膚はバリアー機能も傷害されていて微生物や汚れにも弱いので、皮膚を清潔に保つことも重要です。ただし、石鹸も多量に使うと、石鹸自体が刺激物であるため湿疹をひどくする可能性があります。石鹸の使用はできる限り少量にとどめ、香りのついていないものが好ましいといわれています。

入浴後は、柔らかい繊維のタオルで擦らないで、軽く叩くように水分をふき取るように心がけましょう。

2つ目の普段での注意点としては、刺激物を避けるということ。汗などや荒い繊維の衣類なども避けるようにしましょう。そのほかに、特に乳児期以降では環境アレルゲンであるダニやハウスダストなどが皮膚の症状の悪化を招くことが疑われているため、室内や寝具を清潔に保つことも重要と思われれます。刺激を避けるという意味で爪を短く切ることも大切です。

最後に患者さんへの情報源となるインターネット上のサイト、書籍を紹介いたします。

▽日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎診療ガイドライン
(<http://www.dermatol.or.jp/medical/guideline/pdf/11402013j.pdf>)

▽アレルギー情報センターのアトピー性皮膚炎ガイドライン
(<http://www.allergy.go.jp/allergy/guideline/03/index.html>)

▽書籍「専門医がやさしく語るアトピー性皮膚炎(暮らしの手帖社出版)」

町史

つとのおきの話

191

森林総合研究所 吉村 真由美

只見の森の恵み・溪流魚と釣り人

只見地域は溪流釣りのメッカの一つです。豊かな森の溪流にはりつばな魚がたくさんいると期待して、毎年多くの釣り人が溪流にやってきました。



▲豊かな森は溪流の生き物を豊かに育んでいます

釣り人の動向を遊漁券購入者数などを基に調べてみました。バブル全盛期の頃の溪流はアユ釣りの人々がいっぱいでした。アユ釣りが下火になるとアユ以外の溪流釣り（イワナ・ヤマメ）が盛んになりました。現在の釣り人の数はピーク時よりかなり減っています。釣り人数の減少に伴い、稚魚の放流量もピーク時に比べてかなり減りました。現在の只見地区での放流は、ほとんどが田子倉湖に代表されるダム湖で行われており、溪流ではわずしか放流されていません。以前は栃木県・群馬県・千葉県など県外からたくさん釣りに来ている人がいますが、現在では半数以上（ダム湖で釣りをされる方は約4分の3）は福島県内からの釣り人です。そして、

只見町在住の釣り人は少ないということも分かりました。

只見町の方々に好んで釣る魚種をお聞きしたところ、イワナ・ヤマメ・ウグイの順となりました。また、「釣りは食材を得るためではなく楽しみのため」という方が多いという結果を得ました。只見で溪流釣りを楽しむ人は、ほとんどが只見町以外の方であったので、彼らは地元の人以上に楽しみ（文化サービース）のために釣りをしていると考えられます。一方、「副食としての溪流魚は家族が釣ったものだけ」という世帯が半数程度いることが分かり、釣りは楽しみではあるが最終的に食材（供給サービース）になると考えられます。釣りをする23世帯のうち17世帯は魚が釣れなくなっただと感じておられることも分かりました。また、その17世帯のうち8世帯は、区外からの遊漁者による乱獲で溪流魚（特にイワナ・ウグイ）が減ったと感じておられました。昔はどこでもたくさん釣れたそうですが、本当に魚は減ったのでしょうか。それを只見町の溪流で調査しました。

魚類の種類数が多かったのは小白沢・大滝沢・布沢川・田沢川でしたが、イワナしかいない溪流もありました。水生昆虫の個体数は多くても、魚の種類数や個体数が少ない溪流があり、餌不足のために魚の種類数や個体数が少ないのではないことが分かりました。また、老齢の広葉樹林面積の広い流域ほど魚類の個体数・種類数が少ないという私たちの期待とは逆の結果が得られました。さらに、小白沢・大滝沢・布沢川・田沢川ではイワナの個体数も比較的多かったのですが、全国平均と比べるとかなり少ないということも分かりました。放流稚魚の数と遊漁者数とのバランスがとれていないのかも知れません。また、流域の老齢の広葉樹林面積が広いと、イワナの個体数が減るといふ傾向が見られました。しかし、面積が広いと、大きなイワナが生息しているということも分かりました。老齢の広葉樹林面積が広い流域では、大きい淵が存在するなど溪流環境が多様になるので、大きなイワナが釣られず生き残れる空間も多くなると



▲蒲生川に生息していたイワナ

考えられます。一方、広い流域であるが故に、多くの釣り人が期待をもって入ってくるため、適度な大きさのイワナがたくさん釣られ、個体数が減ったのではないかと考えられます。豊かな森は確かに生き物を豊かに育んでいました。しかし、森が育んだ豊かな恵みを釣り人が片っ端から搾取していったのでは、森の恵みはやがて尽き、享受できなくなるでしょう。人・鳥・獣などの捕獲圧の適度な管理が豊かな森の恵みにつながるのではないのでしょうか。

町民文芸



只見短歌会

四月詠草

大塚栄一 指導

朝早き土手を前のみ見つめつつ急ぎ足に行く人とまた会ふ

皆川 恒子

この春の花見は寒くコート着てだんご食みつつ車中で眺む

吉津 政枝

隣家の合格せしとふ少年にチューリップの花惜し気なく切る

古川 英子

施設より外泊させて妹は短歌の集ひの友らと会はず

五十嵐英子

糖尿と医師に告げられ老いし身に食む事のみ楽しみ消ゆる

馬場 八智

喜寿を祝ぐ同級会の少なくて病める友らや物故者数ふ

渡部ゆき子

芽吹き来し柳に朝日ふり注ぐ山峡の道子と通院す

五十嵐夏美

切干しを広げし蕙の温もりにしばし座れば人が寄り来る

目黒 富子

人住まぬ隣家の庭も春となり梅の古木に白き花咲く

齊藤ちひろ

突然に天候変り満開の桜の花を吹雪は覆ふ

渡部ヨリ子

窓近く梯子をかけて娘らはおぼつかかなげに冬垣外す

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

五月例会

目黒十一 指導

隆 堂

痛む肘に浮く葉を寄せて菖蒲の湯
百千鳥峠はダムを眼下にす

邦 夫

國語辞典いよいよ古び春惜しむ
土蔵より種畧出して日に当てり

康 女

山静かに桜花芽のまだ固し
算盤の玉のかがやき春灯

リウコ

クロッカスいち早く咲き風硬し
春雷や山野一夜に雪世界

都

春空へまっすぐ届く寺の鐘
花冷えやカサかざしゆきランドセル

一 穂

梅ほつほつ朝より雪の飛び荒れて
遠くより水の輝く春の川

洋 子

花筏一線引きて船の行く
雪色のまま立ち上がり水芭蕉

敦 子

クロッカスの花すっぽりと春の雪
雪消えし玉葱畑青々と

礼

柳萌ゆ小枝のような竿を垂れ
新にしん今宵は母を語り合おう

修 一

雪解や曲がりし葱も天を指す
鷹一羽ひとつはばたき川渡る

一 灯

春炬燵まだまだ仕舞う気になれず
春の雲隣のじさま笑ったよ

又 壺 歩

餌あさる小鳥雪間を飛び交えり
退院の妻にほころぶ桜かな

邦 男

看護婦のタイの衣掌や雪の果
遺されし物ふところに青き踏む

吉 児

拍手の千木にこだまや伊勢参
玉砂利を踏む九十二翁風薫る

恒 夫

早蕨の灰汁の抜けたる頃合いに
蛇の殻手斧削りの太柱

今月のお知らせ

RECRUITMENT

募集

只見町職員（作業療法士、理学療法士）採用候補者試験

平成23年度只見町職員（作業療法士、理学療法士）採用候補者試験を行います。

- 一、職種及び採用予定人員
作業療法士又は理学療法士1名程度
- 二、受験資格
資格免許を有する者、又は平成23年3月までに取得見込みの者。住所、年齢は不問。
- 三、試験の方法
次により行います。
- ▽書類審査
- ▽作文試験
- ▽面接試験
- 四、試験の期日・会場
▽期日 申込者に通知します。

平成23年度只見町職員（作業療法士、理学療法士）採用候補者試験を行います。

- ▽会場
只見町役場（福島県南会津郡只見町大字只見字雨堤1039）
- ▽問い合わせ
総務企画課総務班
0241-82-5050
- 五、給与等
初任給は、本町の給料表によるが、このほか扶養手当、通勤手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当などが支給されます。
- 六、受験手続及び受付期間
▽申込用紙の請求
申込用紙は役場総務企画課又は朝日、明和地区センターで交付します。
- ▽申込方法
申込書に必要な書類を添えて役場総務企画課又は朝日、明和地区センターへ提出してください。（郵送による場合は返信用封筒を同封すること）
- ▽受付期間
平成22年5月24日から8月27日まで。（郵送による場合は、8月25日までの消印のあるものに限ります）

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
	☎ 82-5220
企画班	
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221
訪問看護ステーション	☎ 84-2612
	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

平成22年度福島県職員等採用試験

福島県では、次のとおり職員を募集しています。受験を希望される方は参考にしてください。

- 受験資格
- 【大学卒程度】
 - ①昭和56年4月2日から平成元年4月1日生まれの者
 - ②平成元年4月2日以降生まれで大学を卒業した者または平成23年3月末日までに卒業見込みの者
- 【警察官A】
昭和52年4月2日以降生まれで大学を卒業した者または平成23年3月末日までに卒業見込みの者
- 【警察官B】
昭和52年4月2日から平成5年4月1日生まれの者で警察官Aの受験資格を有しない者
- 【市町村立学校栄養職員】
昭和58年4月2日から平成3年4月1日生まれの者で栄養士の免許を有する者または取得見込みの者
- 【市町村立学校事務職員（高校卒程度）】
平成元年4月2日から平成5年4月1日生まれの者
- 試験内容（予定）
 - 【第1次試験】
教養（多肢選択式）・専門（多肢選択式）・専門（実技）・論文・作文・事務適性
 - 【第2次試験】
集団討論・個別面接・適性検査・体力検査・身体検査（測定・持参方式）
- ▽問い合わせ
人事委員会事務局採用給与課
0241-5211-7590

税 今月の納期

- 6月25日までに納めましょう
- 町民税（1期）
- 水道使用料（1期）
- 農集排使用料（6月分）

虫歯のない子



5月18日
三歳児健診



渡部 悠行くん(黒倉)



馬場 悠くん(黒倉)



横山 晃汰くん(黒倉)



梁取 理奈さん(黒倉)



宇野 日陽さん(小林)



山内ひかりさん(梁取)



河原田茜音さん(大倉)

各種扶養手当の支給

●児童扶養手当

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母にかわってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障がいがある場合には支給されます。

【支給資格者】

18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある（心身に障がいのあるときは20歳未満）児童を監護している母又は母にかわってその児童を養育している人。

①母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童

②父が死亡した児童（公的年金を受けることができる場合は除く）

③父が一定の障がいの状態にある児童

④父の生死が明らかでない児童

⑤父が引き続き1年以上遺棄している児童

⑥父が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童

⑦母が婚姻によらないで生まれた児童（未婚の母の子）

⑧孤児などで、父母がいるのか否か不明の児童

【手続の額】

- ▽全部支給 41,720円
 - ▽一部支給 9,850円（41,710円）
- ※一部支給は所得に応じて、10円単位で計算されます。

【支給制限】

支給資格者及びその生計を同じくする扶養義務者等の前年の所得が限度額以上ある場合は、手当の全部又は一部が支給停止されます。なお、平成20年4月より児童扶養手当を受けてから5年を経過するなどの要件に該当する方には、期間が満了する月の2ヵ月前に町から「重要なお知らせ」などが郵送されます。これまで同様に手当てを受給するためには、関係書類を期限までに提出する必要があります。

●特別児童扶養手当

身体又は精神に障がいのある児童を監護又は養育している人に支給されます。

【支給資格者】

身体又は精神に中度又は重度の障がい有する20歳未満の児童を監護している父もしくは母、又は父母にかわって児童を養育している人。

申請方法等、詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ

保健福祉課福祉班
0241-84-7010

平成22年度 財団法人会津若松文化振興財団 事業紹介

開催日時	事業名	会場
7月2日(金) ①10:00～ ②13:30～	中学生芸術鑑賞教室 劇団ポプラ ミュージカル 「火垂るの墓」	會津風雅堂
内容		
短編戦争文学作品「火垂るの墓」（著者：野坂昭如・直木賞受賞）初のミュージカル化。遊び興じることもできずに戦争の悲運を背負わされ、命を寄せ合う兄妹ふたりの物語。原作：野坂昭如、演出：木島恭（「はだしのゲン」で東京都優秀児童演劇賞受賞）		

開催日時	事業名	会場
8月25日(水) 18:30～	仙台フィルハーモ 二一管弦楽団演奏会	會津風雅堂
内容		
日本交響楽振興財団による東北地区巡回企画公演の一環として競輪の補助を受けて開催するオーケストラ公演。指揮：本名徹次（郡山市出身）、ソリスト・演奏曲目は調整中。		

【問い合わせ】
會津風雅堂 ☎0242-27-0900

町 長 室 日 誌

〈 5 月 分 〉

- 6日 観光まちづくり協会定時社員総会
- 7日 南会津地方町村会総会
- 8日 国道252号六十里越雪わり街道「只見-魚沼間」再開
通記念イベント
- 10日 福島県林業協会監事会
- 11日 福島県水道協会定期総会
- 12日 定例庁議、JA会津みなみ本店総務部長来庁
- 13日 企業訪問活動のため群馬県他出張
- 14日 会津ただみ振興公社取締役会
- 16日 ただみ・ブナと川のミュージアム再オープン記念事業加賀美
幸子アナウンサー朗読&講演会
- 17日 南会津防犯協会連合会総会、南会津地方緑化推進委員
会総会、会津総合開発協議会南会津地方部会総会、
極上の会津プロジェクト協議会総会、消防ポンプ操
法大会選手結団式
- 19日 全国治水砂防協会通常総会、ダム・発電市町村活性
化実現大会定例総会
- 20日 「全国森林環境税創設」総決起大会及び定例総会、道
路整備促進期成同盟会全国協議会通常総会、安全安
心の道づくりを求める全国大会、福島県選出国会議
員要望活動
- 21日 福島県総務部村田部長来庁
- 24日 奥会津五町村活性化協議会第1回定期総会、只見川
電源流域振興協議会定期総会
- 25日 地域連携室との意見交換会、湯ら里株主総会、南会
津地方町村議会議長会との懇親会
- 26日 福島県町村会定期総会、福島県鉄道活性化対策協議
会総会
- 27日 福島県林業公社通常総会
- 28日 只見小学校体育館起工式、会津縦貫南道路整備促進
期成同盟会役員会及び総会
- 29日 会津みなみ農業協同組合通常総代会、只見OZONE
CAMP
- 30日 水の郷ウォークin梁取
- 31日 社会福祉法人南会津会評議員会及び理事会、南会津
地方広域市町村圏組合管理者事務引き継ぎ

町民の消息

(5月1日～5月31日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

五十嵐 千 紘 (男/和 弘・佳 子) 只 見

■ご結婚おめでとうございます

只 見 二階堂陽介 ♡ 三春町 佐久間聡美
南会津町 酒井 俊介 ♡ 只 見 目黒 寿美
大 倉 佐藤 政利 ♡ 小 林 渡會 千恵

■おくやみ申し上げます

藤 田 ノブエ	98才	只 見	見 戸
梅 宮 豊 次	90才	只 見	榎 戸
渡 部 新 吉	79才	只 見	長 浜
小 林 義 弘	79才	只 見	黒 谷
渡 部 政 守	65才	只 見	黒 谷
増 田 夕 奈	84才	只 見	小 川
目 黒 和 弘	51才	只 見	福 井
三 瓶 徳 夫	83才	只 見	大 倉
星 キチ工	85才	只 見	福 井

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年5月1日現在

人 口	4,971 (+2)
男	2,366 (+1)
女	2,605 (+1)
世帯数	1,882 (+5)
高齢化率	41.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 24 転出 19 出生 4 死亡 7

▽6月に入り、田植え作業もひと段落、稲の苗がきれいに並んだ田んぼには澄んだ水が張られ緑豊かな辺りの山々を映しだしています。そんな春の田園風景を眺めていると、何となく気持ちがリラックスしてきます。▽この、普段見慣れている田んぼのことについて調べるイベントが梁取地区で行われ地元の小中学生などが、カエルやドジョウ、フナ、ヤゴなどを網で捕まえ、米を収穫するだけではない、生き物が生息するために欠かせない環境も維持していることを学びました。田んぼって凄いですね。

あとがき

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎ 86-2111

おすすめ新着図書

★天地明察



沖方丁 / 著 (角川書店)

福島市在住の著者による、第7回本屋大賞受賞作。四代将軍家綱の時代に、日本初の国産暦を作成し実に823年振りに改暦を実現させた渋川春海の半生。保科正之、水戸光圀、関孝和などそうそうたる時代の申し子たちに囲まれ、一途に仕事を愛し、数々の挫折を乗り越え、歴史に残る偉業を成し遂げるまでを、軽やかにそして爽やかに描ききった歴史エンタテインメント。

★太一×ケンタロウ 男子ごはんの本



国文太一×ケンタロウ / 著 (M.Co.)

ご存知TOKIOのメンバー国文太一と料理研究家ケンタロウのレシピ本ができました。肉多目でガッツリ系のメニューが中心なところはいかにも「男子」ですが、おしゃれな写真とかわいらしい2人の掛け合いが、従来の「男の料理」というイメージにはない仕上がり。タレント本というところを差し引いても美味しそうで楽しそうで一見の価値あり！です。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

アカショウビン

田植えが終わるころから「キョロ
ロロロ」というさえずりが聞こえは
じめます。

6月～9月に東南アジアから只見
に渡ってきて営巣するアカショウビ
ンです。

只見の方言では鳴き声を馬にたと
えて駒鳥（コマドリ）といいます。



撮影/村岡豊

ブナセンター講座

- 第3回 6月19日(土) 「木工クラフト教室」
- 第4回 6月26日(土) 坪田和人さん講演「只見のブナの魅力」
- 第5回 7月4日(日) 「ストーンアート教室」
- 第6回 7月17日(土) 「ホテル観察会」
- 第7回 8月5日(木) 「昆虫採集教室」講師:今井初太郎さん/対象:小学校高学年～
- 第8回 8月8日(日) 「恵みの森・親子自然教室」/講師:鈴木和次郎さん

【特別企画展】

昆虫標本展 7月21(水)～9月17日(金)

※この広報紙は再生紙を使用しています

イベントカレンダー

6月

● 13日(日) 「会津朝日岳山開き」

● 19日(土)

「100万人のキャンドルナイトin
只見(只見川公園)」

● 20日(日) 「只見湖畔健康マラソン&
ウォーキング大会」

7月

● 27日(日) 「浅草岳山開き」

● 17日(土) ～19日(祝)

「風つこ会津只見号運行」

● 17日(土) 「伊南川アユ釣り解禁」

● 24・25日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

● 31・8月1日(土・日)

「水の郷まつり(只見川公園)」
「風つこ会津只見号運行」

8月

● 7・8日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

▼毎週日曜日、朝8時半より、ひんのめえ
市を開催中です。町民の皆さんも出品し
てみませんか。詳しくは、お問い合わせ
ください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています